

# 何とかしたい!

米軍基地跡地のうち、市内の十九・四ヘクタールの有効利用計画を纏めるよう、朝霞市当局が、国有地を管理する「財務省」から求められたのは、平成十五年七月のことであった。市当局は直ちに通告したのである。

「策定委員会」をつくらせてプランニングに取りかかり、一方市民の意見を反映させるために「市民懇談会」を足させ、関係者は、計画をまとめるために努力を払ってきた。

跡地をすべて緑地として残せ、という市民グループの署名活動が始まり、その勢いは高まっているが、一方で、基地跡地整備計画策定委員会は、九月二十七日の第6回の委員会を開き、席上で、国家公務員住宅建設が行なわれた後、これに隣接することになる地区の土地利用計画を協議した。



朝霞市基地跡地の利用計画 (計画策定委員会の公開資料より)

## その進め方が曲折して

### 市民を悩ませる...

## 朝霞市基地跡地の利用計画

## 市民感覚と

## 公務員意識との乖離

かいらり

### 着工が迫ってきた!

### 国家公務員住宅二棟

### 25、26階建の建設

### 国家公務員住宅を核とする

### 市民生活に密着したゾーンの構築計画

すでに本紙34号で報じたように、策定委員会は、朝霞税務署前に広がる敷地部分に、高層の国家公務員住宅二棟を建設する財務省の方針を受入れた。

またこの過程で、跡地の一部には、金属汚染が広がっていることが分かり、事前にその除去が必要になってきた。

25、26階という高層の国家公務員住宅の建設計画では、辺り一帯の民家を国家公務員の居住者が見下ろす構図となる。

そこで共存すべき市民と公務員の生活圏が、まるで油と水のように、全く遊離してしまうのではないかと、憂慮する市民は少なくない。

跡地をすべて緑地として残せ、という市民グループの署名活動が始まり、その勢いは高まっているが、一方で、基地跡地整備計画策定委員会は、九月二十七日の第6回の委員会を開き、席上で、国家公務員住宅建設が行なわれた後、これに隣接することになる地区の土地利用計画を協議した。

市民意識を公務員が理解して、計画案の作成が順調に進むことを願ってやまない。何とかならないか、市民感覚と公務員意識との乖離!



11月1日 第36号

発行人 特定非営利活動法人「市民フォーラム」  
編集人 原昭二  
制作・印刷 デジタル工房  
FAX 048(476)9111  
〒353-0004 埼玉県志木市本町5-18-24

市民の目線で市民が発信する地域情報紙  
**WEB SHIMIN**  
<http://shimin.camelianet.com>

## CONTENTS

- PAGE 1
  - 何とかしたい! 市民感覚と公務員意識との乖離
  - 都市計画 単一、25メートル制限高さの問題はないか?
  - 新座の風光 西堀給水塔より
- PAGE 2
  - ~歴史を紐解く~ かつての志木を語る
- PAGE 3
  - ニューヨークに見る The United States of America Part 2
- PAGE 4
  - 地域情報 国登録有形文化財「朝日屋原薬局」初公開 運動会の秋 明治・大正・昭和の新聞とおもしろナンデモ紙展「もんじょ」と「ぶんしょ」
  - 私の小学校時代
  - 首都圏人 第8号発売



東 達男「本多西堀浄水場給水塔より富士山を望む」

## 都市計画 単一、25メートル制限 高さの問題はないか?

建築物の高さ制限として、商業地域、低層住宅地域以外の全域に、一律25米と指定する志木市の都市計画案が提示され、その説明会が開かれた。

この案に対して、参加者から、いくつもの疑問が提出された。「志木市まちづくり懇談会」及び市民有志は、志木市長宛に要望書を提出した。

問題点として挙げられたのは、全域一律という、地域特性を無視した計画は、弊害をもたらすというものである。

## 新座の風光

### 西堀給水塔より

フォトサークル虹は、市内の景観を定点で捉える活動をすでに十年続けている。



斉藤さよ子「晩秋のむこうに」-西堀浄水場屋上より-



志木市役所付近(昨年始め空撮)高さ制限で、日本ワイス・レダリー工場跡地の景観はどう変わるか?

高さが維持できるようになっている。志木市の日本ワイス・レダリー工場跡地は大規模な敷地をもつが、住宅建設時には、高さ制限による平面的な展開が避けられず、水と緑が生かされるべき地域景観との調和は困難になろう。



# かつての志木を語る

司会 原昭二氏 (朝日屋原業局三代当主)

話者1 井下田慶二郎氏 (引又河岸回漕問屋十七代当主)

話者2 神山健吉氏 (志木市文化財保護審議会会長)

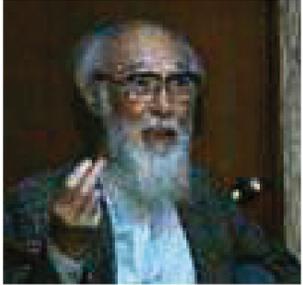
〈この座談会は一九九三年に行われました〉

## 第一節 まちづくりを進めた人々〜歴史的群像〜

司会… 歴史にお詳しい神山さんにお伺いしたいのですが、今日の志木市の発展に功績があった方々の名前をま

ず挙げて戴けませんか。そして、それらの方々にどんな功績があったか、まち作りにどんな貢献をされたかをお話し戴けませんか。

神山… 以前、埼玉県は各自治体(市町村)の協力によって、それぞれの自治体の功労者二十人を選び、まとめて二冊の本にすることを計画しました。各市町村から約二十名ですから、全県ではかなりの人数



井下田 慶一郎氏

頃から回漕問屋は井下田さんと高須さんになりましたが、その前には三上さんが回漕問屋をやっていました。場所は現在の浅川

司会… この三上さん

については、資料はありますか。

神山… 郷土史にも載っていますし、わたしの発表した志木市史の中でもかなり大幅に引用してあります。近代の歴史を担当された方が書いてます。

司会… あとは秋元さん、秋元巳太郎さんもこの中に入りますか。

神山… 入ります。これは、救世軍に入つての活躍、文筆による活躍ですね。これも大変な方ですね。それから、私の先祖の神山雲眠という人がいます。この人は、四十八才ぐらいになつてから甲府の学問所に留学するのです。

甲府の学問所というのは、江戸の昌平校の分校なのです。江戸時代も中期ぐらいまでは、甲府勤番の武士の子弟だけを教育する場所でしたが、幕末ころになると、庶民の子弟も希望する者があれば、入れるようになったようです。そこに二年ばかり留学をして、今でも宗岡の天神さまの境内に建つ水神社という石碑の文字とか、和光市の妙典寺に、雲眠の書いた字を彫つた石碑があつたり、この人の残した筆跡はかなり沢山残っています。うんみんな

というのは、雲が眠ると書くのです。これは号ですね。

司会… その頃、神山さんの御商売は、何だったのですか。

神山… あのころは水車屋です。

司会… 穀物を粉に挽くわけですから、穀物問屋という商売ですね。どのくらいの歴史があるのですか。

神山… あまり古くないですね。針ヶ谷から出てきているのです。現在の当主、秀三郎氏で六代目です。雲眠が二代目です。

司会… 以上の方々の中で、もっとも重要な方は誰方でしょう。

神山… やはり回漕問屋から鉄道の駅の開業に向かつて活躍された井下田慶二郎さんでしょう。知識人であつた星野半右衛門さんも特筆されるべき人物だと思えます。

## 第二節 幕末期の情報通 星野半右衛門

司会… 星野半右衛門さんは弘化四年

(1847)、二十二才で志木市の前身、引又宿の名主役を継ぎ、知識人もあつたことから、町民間の紛争の調停に優れた腕を発揮し、ペリー率いる黒船の来航など、当時のことをしたためた日記を残しています。さて星野さんの系図は何代くらいまで分かっているのですか。

神山… 江戸初期からとみて間違いないと思います。三上、星野、村山が志木の草分けと言われています。

井下田… 西川ほか四軒が志木市に移り住んだと聞いていましたが。

神山… そうですね。その後、四つの家系が出ているのです。館村旧記」というのに出ています。

司会… いずれにしても江戸初期から出ているということですね。半右衛門さんは和光から来たんですか。

神山… そうです。富沢さんという薬屋さんからです。

司会… 現在薬局を営んでいる富沢さんの先代ですか。

神山… そうです。何

代か前ですね。あそこから養子としてこちらに入ったのです。夫婦養子なので、奥さんは新河岸の望月善兵衛という人の娘さんです。

司会… ということは、血縁関係はそこで切れたんですか。

神山… そうです。

司会… 半右衛門さんの後のことを教えて下さい。その敷地に、わたしの先祖が住むようになったんですが、星野家がどういふ事情でこの土地から離れられたか。御存じでしたらお教え戴きたいのですが。

神山… 半右衛門さんは、明治三十年代に裏に引つ込んだじゃうんです。つまり隠居所の方に入つてしまふんです。隠居所というのは、表通りから中に四、五間入つたところで、今それは、原さんのお宅の敷地内にあると思います。星野さんのお宅は会所の家と呼ばれていて、その隠居所に住んで、あの方がそこで亡くなつてから、星野照二さんというその息子さんが入つたんですね。照二さんが明治四十年代の始め頃に、やはり町長をやつて

死で、四十三年頃に亡くなりませんが、照二さん

のお嬢さんのわしさんのおむこさん、礼蔵さんが結婚した後東京に出られたらしいんですね。

司会… 照二さんが町長をやつてから、すぐその隠居所に入ったんですか。

神山… そうです。明治三十五年の街並みはどうだったか。どういう店が並んでいたか、その地図がありますね。「埼玉県商業便覧」ですかね。あれを見ますと、巡査部長、派出所になっていまして、表の方にそういうものができて、自分たちは裏に引つ込んだんですね。照二さんが明治四十三年頃に亡くなつて、閉まつて、その隠居所を、私の親戚で、神山イトという人がいるんですが、そのお父さんの弥次郎さんが、その隠居所を譲り受けたのです。それを敷島神社の近くの方にもつていて、自分たちの住まいにしたのです。その弥次郎という人が、弥次郎さんのことを、当時は会所の弥次郎さんと呼んでいたのです。というの

礼蔵さんとわしさんですが、礼蔵さんは山口県の方からむこで来たのですが、その二人の

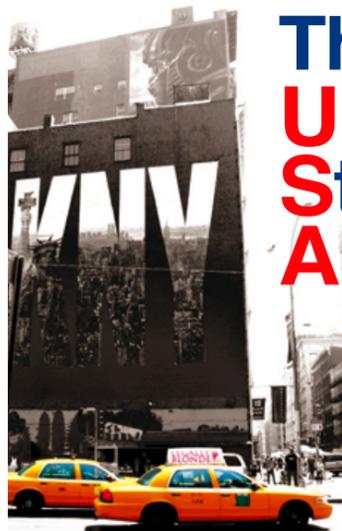
間に子供が二人いて、モトさんという娘と、もう一人息子さんがいて、四人家族だったんですね。どういう職業についたかは定かではないのですが、モトさんの弟は、経師屋さんで、宮内庁にも勤務していたことがあるようです。ところがこの方が早死で、大正八、九年に亡くなるので

本来ですと経師屋をしてた人が星野家を嗣ぐわけだったので、急遽お姉さんのモトさんが群馬県の方からむこさんを貰い、その方は修蔵さんと言う方ですが、その修蔵さんが早死して昭和六年に亡くなるのです。瀬戸物屋さんをやつていたようです。修蔵さんがやつていた瀬戸物屋を、モトさんが番頭さんと一緒にしばらくやつていたのですが、番頭が亡くなったか、あるいは別の理由で、続けられなくなり、苦労されて、そのうちに小料理屋を始め、十数年、阿佐ヶ谷でやつていたようです。ここには相撲の関取の出羽ヶ岳ですとか、あるいは作家の上林暁が出入りしていたようです。その上林暁の書いた本に、阿佐ヶ谷の小料理屋として出てくるそうです。(次号へ続く)

# ニューヨークに見る The United States of America

## Part 2

Report by RIE



アメリカのたべものといえば、マクドナルドにコーラ、全てが大きく大雑把。「日本人のからだや好みには合いません。」なんて思ってる方が多くありませんか？

現在、アメリカ人の成人の66%が過体重もしくは肥満、子供・若者の16%が過体重、34%が過体重のリスクがあるというのが事実です。

しかし、実は私たち日本人よりも、アメリカの方が食生活の関心度が高いのかもしれない。少なくともニューヨークは、こだわっています。

### NYの楽しみかた その2

世界の各国の様々な人種が集まるNYでは、毎日違うテイストの各国の料理を味わえますし、宗教による戒律で食べるものに限りがある人々や健康志向のニューヨーカーたちも多いので、ベジタリアンフードを取り扱うスーパーマーケットやレストランが数多くあります。日本では味わうことの出来ないそれらの料理を食べることも、ニューヨークならではの楽しみ方です。

でも、とてもおいしいものばかりです。牛乳の代わりにsoy milk(大豆乳飲料)も日本とは比べようもない程度普及していて、高タンパク&低カロリーの大豆は、健康志向のニューヨーカーに大人気です。

にふと湧いた疑問、それは「なかなか野菜が傷まないのはなぜ？」ということ。これはすなわち大量の農業を使用しているということ。安く腐りやすい、けれど味が悪く体調も悪くなった、そんな食生活にピリオドを打とうと始めたのが、オーガニック食材に目を向けてみることでした。

アメリカのオーガニック市場は45億ドルを超える世界ナンバー1。消費者は健康意識し、食味のよさと、品質への信頼感を寄せて、オーガニックを選択の基準としていることがうかがい出来ます。同時に、従来の大量販売製品に魅力を感じないという傾向がみられ、消費者は第一に食品情報の信頼性を求めているのです。

健康問題を食の安全から考える時期なのではないか、と感じます。

### ユニオンスクエアへ！

ユニオンスクエアにもある世界最大のオーガニックスーパーマーケットチェーンのホールフーズ(Whole Foods Market)には、野菜や果物・肉や魚などの食材から、アロマ、サプリメント、ヘアケア・ボディケア製品までが揃い、連日多くのニューヨーカーが買い物に訪れます。ホールフーズのモットーは、"Whole Foods, Whole People, Whole Planet" (自然食品、健康な人々、健全な地球)。食の安全だけでなく、環境問題にも取り組む、まさにお手本にすべき企業です。ここ、ユニオンスクエアには、毎週末、地元農家の人々がオーガニックの食材を売るマーケットが開かれます。新鮮でおいしい野菜を求め、ニューヨーカーの有名レストランのシェフも足を運ぶという事です。



Brooklyn Bridge



14st-Broadway (Union Sq.)



SOHOの小さなマーケット



Washington sq. parkにて

想像がつかない調理法

実際にスーパーへ足を運んでみると、オーガニック食材は若干値段が高い物もありますが、日本のそれらと比べたら全くの許容範囲内でした。自然派スーパーに行かなく

今日、日本でも狂牛病や過度の農薬散布、ダイオキシンなど、様々な食の安全に関する問題が取り沙汰されています。ここはアメリカに見習い、私たち

実際にスーパーへ足を運んでみると、オーガニック食材は若干値段が高い物もありますが、日本のそれらと比べたら全くの許容範囲内でした。自然派スーパーに行かなく

今日、日本でも狂牛病や過度の農薬散布、ダイオキシンなど、様々な食の安全に関する問題が取り沙汰されています。ここはアメリカに見習い、私たち

今日、日本でも狂牛病や過度の農薬散布、ダイオキシンなど、様々な食の安全に関する問題が取り沙汰されています。ここはアメリカに見習い、私たち



ユニオンスクエア

## スキンケアだって、オーガニックで

食べる物だけでなく、スキンケアも自然派の方にお勧めなのが、化学製品を使用していないオーガニックのボディケアブランドです。日本だと高くなりがちなのこのような製品も、NYなら手頃な値段で購入できます。

先述のホールフーズにも様々なブランドが揃っていますが、私のお気に入りには、ヌビアンヘリテイジ(Nubiane Heritage)というブランドです。黒人オナーによる黒人のためのブランドですが、アジア人の肌の肌にもとても良く合います。シアバターやココナッツなどの100%ナチュラルオーガニックの原料で作られているこのブランドの製品は、肌に優しいのももちろんのこと、天然成分由来の甘い香りも同時に楽しめます。

化学製品でない、こういった無添加製品が、日本でももっと身近な存在になると良いですね。

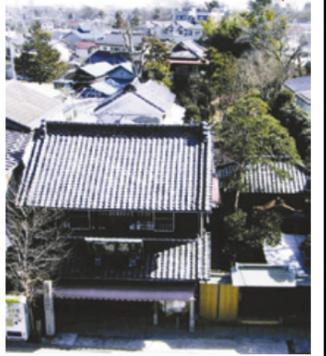


### Nubian Heritage

<http://www.nubianheritage.com/>  
2037 5th Avenue NY 10035 (subway=2.3.4.5.6/125th st)



# 地域情報



## 近代化遺産 全国一斉公開 2007 国登録有形文化財「朝日屋原薬局」特別公開



離れの内部

近代化遺産、志木市の国登録有形文化財「朝日屋原薬局」が10月27、28日に一般に公開された。

近代化遺産とは、日本の近代化に貢献した産業・交通・土木に係る建造物等の文化財で、「全国近代化遺産活用連絡協議会」の呼びかけ、志木市教育委員会の主催によって初公開された。

国有形文化財に登録されたのは洋館、土蔵、物質、離れ、屋敷神など七棟。

見学者は、二百名に達した。

第21回企画展

### 「もんじょ」と「ぶんしよ」

#### 古文書解読と記録保存

朝霞にしかない歴史がある

朝霞市博物館  
朝霞市岡2-7-22  
TEL 048-469-2285  
FAX 048-468-0079

10月13日(土)~11月25日(日)  
休館日:月曜日

**企画展映像学習 [Into the Future]**

電子化された記録保存のありかたについて学習します。  
(電子化社会における密かに進む記録保存の危機)

①11月14日(水) 午後1時30分~午後3時~  
②11月17日(土) 午前10時~午前11時~

対象/定員: 一般/各回25人

**ギャラリートーク** 企画展担当学芸員による展示解説  
11月25日(日) 午後3時~

\* 詳しくはTELでお問合せ下さい \*



がんばるもん!



メロン組8番の活躍

### 運動会の秋 新座市内にて

**特別展** 明治・大正・昭和の新聞と  
おもしろナンデモ紙展

志木市立郷土資料館では、明治から昭和の印刷物を集めた「明治・大正・昭和の新聞とおもしろナンデモ紙展」を開催中。11月25日まで、市内の収集家から寄贈された資料を中心に、約1千点の新聞やチラシ、印刷物を展示。

開館は午前9時半~午後4時半。入場無料。休館は月曜と9日、31日、11月6日。志木市立郷土資料館 TEL・FAX 048(471)0573

志木市市場町内会 「文集いちば」より  
私の小学校時代 綱島安暉

「みんなで勉強うれいいな 国民学校 年生」

私が小学校へ通い始めた頃は、まだ戦争の最中で、防空ズキンをかぶって通学していた。途中で空襲警報のサイレンが鳴ると、急いで家に帰って来る始末だ。家の庭の所には防空壕が掘ってあつて、いつでもそこには入れる様になっていた。夜は灯火管制が敷かれ、電灯は黒い布をかぶせて部屋はいつも暗くしていた。夜はまた焼夷弾や、照明弾を落とされるから、空は明るく、それでもこの周辺はあまり被害を被らなかつたが、東京の方の空は戦火の火の火の真赤に見えた。戦争は日増にはげしさを増していった。

小学校の校庭では、軍事教練が行われたりして、竹やりを持った人達が、銃剣術の演習をしている。また志木劇場の前の公園でも割烹着姿のお母さん達が、バケツを次から次へ手渡す消防訓練も行われたりしていた。

また方では軍用の物資が不足してか、お寺の鐘や、家庭にある金物の火鉢迄も戦争のために献納されていった。学校では疎開の子が二人と増え始めた。

「ほしがりません勝つまでは」  
そんな文句も、国民の生活の心の中にしみ通つていったが、日本はやがて敗戦を迎えた。

終戦と共に、町には背の高い青い目の外人が入つて来た。初めて見るアメリカ人には、子供ながら怖さと不気味さを感じさせたが、時

が経つにつれ、外人さんを見ると、ギブリーチョコレート、チューインガムなどといって、子供達はいつしか外人さんに群がっていく、町には軽快な進駐軍のジープの走る音が響き渡つていった。

学校では栄養を補給するためか、肝油ドロップが一粒づつ生徒にくばられたが、それがまたうれしかった。

天長節や紀元節には式典が行われ「今日のよき日は」とか「雲たそびゆる高千穂の」の半分意味のわからない歌を歌わされたが、その日は授業もなく式典が終わると、「一人一人お菓子がくばられるので、それがまたうれしかった。

ラジオからは、リンゴの歌がよく聞えてきたが、リンゴは闇市ででんと輝き、人々には高峰の華と見ええていた。物不足は毎日が大変な思いで、東上線は買出し部隊で、電車の屋根迄乗客がのぼる程、毎日が鈴なりだった。

収穫の秋を迎える頃になると、学校ではよく「イナゴ」とりをさせた。富士見橋方面の田んぼが主だ。金色の稲穂の上をイナゴがとびはねる。それを元気に追いかけた。途中行き帰りは、よく軍歌を歌われ行進した。

秋から冬にかけて「檜の実」拾いもさせられ、友達と宮戸の方迄拾いに行つた事もあった。教室はみんなが集めてくる「檜の実」で「教室が日増しに山積にされていった。」

(次号へつづく)

「暮らしのヒント・味と香り」味のサイエンスその3」は次号に掲載します。

**特定非営利活動法人 NPO市民フォーラム**

この法人は地域住民と行政に対して取材活動を行い、報道によって市民の公共参加を推進し、地域内のメディア事業を行つて、市民のコミュニケーションを向上させることを目的としています。

地域情報紙「市民プレス」はNPO市民フォーラムが編集・発行し、無料で配付します。

◆ 読者の「オピニオン」(意見/考え)を募集します。

TEL 090(304)8502  
編集部 原宛にどうぞ

一般書店・楽天ブックス・amazonで

### 第8号近刊 予約受付中

この人 長井長義 日本の薬学の創始者  
文学に親しむ 國木田獨歩の「武蔵野」  
特集 JR山手線の地誌  
Bird's Eye 空撮 変貌する都市の景観  
JR新宿駅付近 赤坂御用地・迎賓館 JR池袋付近  
JR田端駅付近 JR西日暮里駅付近 JR王子駅付近  
JR赤羽駅付近

季刊 B5版 100ページ(カラー 50ページ) 定価 630円(税込価格)

発行:(株) ヒューマン・クリエイティブ  
〒113-0033 文京区本郷 5-9-5 TEL(03)3813-7937  
FAX (048)476-9111 http://shutoken.camelianet.com/  
発売:ブックینگ  
〒101-0062 千代田区神田駿河台 2-8 TEL(03)3233-5336 (代表)

NPO市民フォーラムが編集する

CREATIVE BOOK

## 第8号 「首都圏人」

暮らしを楽しむ 知的なヒントを与える 「首都圏人」は 1号から8号の刊行を以つて 第1期を完結します。

Bird's Eye 空撮

この人長井長義 国木田獨歩の「武蔵野」を親しむ 川山手線の地誌

第1号 [ISBN4-8354-7204-7]  
第2号 [ISBN4-8354-7205-5]  
第3号 [ISBN4-8354-7213-6]  
第4号 [ISBN4-8354-7214-4]  
第5号 [ISBN4-8354-7217-9]  
第6号 [ISBN978-4-8354-7227-0]  
第7号 [ISBN978-4-8354-7228-7]